



13
3087
25



へ13特
3087
25

喜ぶくちやわといひけん月光あも配所の白里濱ふ
うまよ 春 あり いま 春のあけをたて
鴻書と示て夏女と誘ふ春兩大箱が磯馴屋の閑談

馬琴 著

上下二帙

傾城水滸傳第三編之三

國安画

仙鶴堂梓

銭わゆるはま欲せし講親ハ時が鹿嶋と八幡浦ふ
あま うまの あまの うま
魚舟と掠て下貝と戦ハ風力壽が楫取宿の狼藉

五





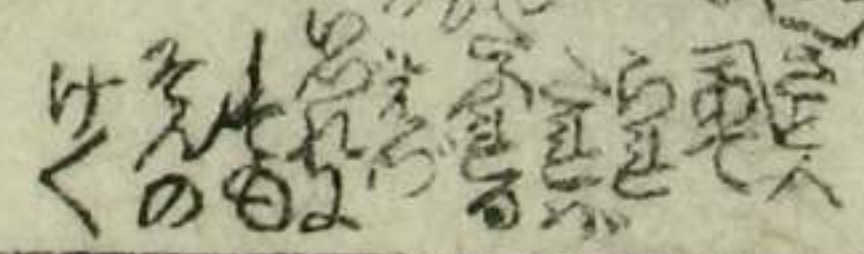
五世孫九任八

[illegible][illegible][illegible][illegible]



大

2
アイタタタ
アウエハ
イ



子振のりて百廿六
多ふなりん分もこの條か
いふなるまゝオチとていふと
て来月より云々の行振と


 つまといとてても
 わんまゝのめを
 へらしてさうなの
 上あごさう
 カキのくははるむさり
 へまのむさあふのふて
 へるふとあけふあふを
 らまもこのう中へ入れ
 とくはさくあふと

